

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY 伊川谷校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和6年12月3日		～ 令和6年12月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の情報共有がしっかりとできていること	毎朝朝礼を実施し、前日のお子様の様子や気になったこと、保護者様からお話があった場合の内容、当日来所予定のお子様の支援内容などについてを細かく共有することができている。朝礼時以外にも、気付いた場面でその都度、情報共有を行うことで、日々の支援に活かしている。	引き続き朝礼の時間をしっかりと確保し、情報共有を行うことで支援の充実を図っていききたい。
2	お子様への支援	お子様それぞれの特性や興味などを職員がしっかりと理解し、日々の支援を実施することができている。また、変化があったときはそのつど情報を共有することができているため、臨機応変な対応ができている。	支援に関する研修を受けること、お子様ひとりひとりに必要な支援についての話し合いを日々行うことを継続し、支援の充実を図っていききたい。
3	引き渡し時の引き継ぎ	ご利用時の引き渡しの際、今日行ったことやそれに対するお子様の様子など、主に関わった職員が細かくお話しするよう心掛けている。また、ご相談があった際は持ち帰って職員間で話し合いお返事をしたり、次の支援に活かしたりするようにしている。	引き続き毎回の引き継ぎを丁寧に行い、安心してお子様を預けていただけるような対応を行っていききたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の駐車場が1台分しかないこと	公共交通機関よりも車の方が来所しやすい場所に事業所があるため、保護者様のお迎えが重なる時間帯は混雑してしまう。	保護者様へのお話を端的にまとめ、できるだけ引き渡しの時間を短くすることで今後もスムーズに駐車場の交代ができるようにしていく。
2	支援室のスペースが狭めであること	人数の多い時間帯は、体を動かすには少し狭いように感じてしまう。	ひとりひとりのお子様の特性をしっかりと理解し、座って行う活動や動きのある活動を組み合わせ、安全に支援を提供することができるような環境作りを行っていく。

3	支援室の真ん中に大きな柱があること	視界に入っていれば避けることができているが、気持ちが高ぶっているときは視野が狭くなることもあり危険に感じてしまう。	お子様の動きをしっかりと把握し、人数が多い時間帯や体を動かす遊びをする際は特に気を付けて見守っていく。また、必要に応じて柱の近くに職員を配置していく。
---	-------------------	---	---